

平成20年2月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年1月15日

上場会社名 株式会社ゼットン 上場取引所 名証セントレックス
 コード番号 3057 URL <http://www.zetton.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲本 健一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理副本部長 (氏名) 坂井 朗 TEL (052) 243-7050

(注) 当連結会計期間より新たに連結決算を開始したため、前年同四半期及び前連結会計年度の実績、増減率については記載していません。

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年2月期第3四半期の連結業績 (平成19年3月1日 ~ 平成19年11月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年2月期第3四半期	3,740	-	101	-	121	-	69	-
19年2月期第3四半期	-	-	-	-	-	-	-	-
19年2月期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年2月期第3四半期	1,803	36	1,731	26
19年2月期第3四半期	-	-	-	-
19年2月期	-	-	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
20年2月期第3四半期	2,352	706	706	706	30.0	18,350	34	
19年2月期第3四半期	-	-	-	-	-	-	-	
19年2月期	-	-	-	-	-	-	-	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
20年2月期第3四半期	282	△524	305	464	305	464	464	464
19年2月期第3四半期	-	-	-	-	-	-	-	-
19年2月期	-	-	-	-	-	-	-	-

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					
	中間期末		期末		年間	
	円	銭	円	銭	円	銭
19年2月期	-	-	-	-	0	00
20年2月期	-	-	-	-	-	-
20年2月期(予想)	-	-	-	-	0	00

3. 平成20年2月期の連結業績予想 (平成19年3月1日 ~ 平成20年2月29日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	4,720	-	120	-	130	-	67	-	1,765	70

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 有

新規 1社 (社名 ZETTON OCEAN ROOM PTY.LTD.)

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成基準 : 中間連結財務諸表作成基準

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(4) 会計監査人の関与 : 有

四半期財務諸表については、名古屋証券取引所の「上場有価証券の発行者の会社情報の適時開示等に関する規則の取扱い」の別添に定められている「四半期財務諸表に対する意見表明に係る基準」に基づく意見表明のための手続きを受けております。

5. 個別業績の概要 (平成19年3月1日 ~ 平成19年11月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年2月期第3四半期	3,607	29.8	103	5.5	121	28.8	69	47.2
19年2月期第3四半期	2,779	—	97	—	94	—	47	—
19年2月期	3,750	—	105	—	100	—	45	—

	1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭
20年2月期第3四半期	1,811	28
19年2月期第3四半期	1,328	56
19年2月期	1,261	37

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
20年2月期第3四半期	2,302		698		30.3		18,162	71
19年2月期第3四半期	1,732		630		36.4		16,400	22
19年2月期	1,643		629		38.3		16,351	43

6. 平成20年2月期の個別業績予想 (平成19年3月1日 ~ 平成20年2月29日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	4,500	20.0	120	14.2	130	30.0	67	48.8	1,765	70

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、緩やかな景気回復のなか順調に推移し、企業業績の回復が続いた一方、原油をはじめとする原材料価格の高騰や住宅着工の減少、サブプライム問題等の影響による米国経済の減速懸念など、今後の景気に大きく影響する事態が発生しており、景気の不透明感は今後も続くことが予想されます。

外食業界におきましては、個人消費の回復を背景に利用客数の増加等明るい材料も見受けられるものの、大手チェーン店を中心としたM&Aによる合従連衡、食の安全性に対する社会的関心の高まり、原材料の調達に対する諸問題が依然継続していることや、労働力確保に対する諸費用が増加するなど、業界内の競争環境は引き続き厳しい状況にあります。

このような市場環境のもと、当社グループは主要戦略事業であるパブリック事業を中心に事業の成長を促進させると共に、既存店舗におけるサービス・料理のクオリティの向上、営業力の強化を行なってまいりました。また、優秀な人材の積極的採用をはじめ、本社機能の強化を図ることで、さらなる成長を目指すための土台作りを引き続き推進してまいりました。

新規出店に関しましては、コマーシャル事業にて2店舗、パブリック事業にて3店舗、計5店舗の出店を行い、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は31店舗になりました。

その結果、当第3四半期連結会計期間の業績は、売上高は3,740百万円、営業利益は101百万円、経常利益は121百万円、第3四半期純利益は69百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

・パブリック事業（公共施設における店舗開発・再開発）

平成19年6月に、シドニーの国際客船ターミナル内にあるシーフードレストラン「OCEAN ROOM」を取得し、海外における公共施設への出店の足がかりといたしました。

さらに、平成19年10月に、JR岐阜駅前にオープンした岐阜シティー・タワー43の岐阜市が所有する最上階（43階）部分に、プライダル併設レストラン「Forty Three」を、同施設の2階に「東京渋谷 神南軒」を出店いたしました。当初予想を上回って推移しております。

また、既存店舗におきましては、「ガーデンレストラン徳川園」「THE TOWER RESTAURANT NAGOYA」「GARLANDS」などの大型店舗が堅調に推移いたしました。

その結果、当事業における売上高は1,955百万円、営業利益は301百万円となりました。

・コマーシャル事業（商業店舗における店舗開発・再開発）

東京ミッドタウンに平成19年3月にシャンパン・ビストロ「orangé」を、また平成19年10月に、再開発が進む霞ヶ関三丁目南地区の東京倶楽部ビルディングにジャパニーズ・パール「食堂BARカスミガセキ」を出店いたしました。

また、既存店舗におきましても、前期とほぼ同水準で推移しました。

その結果、当事業における売上高は1,773百万円、営業利益は169百万円となりました。

・プランニング&コンサルティング事業

グラフィックデザインの制作や他の飲食施設へのコンサルティング等により、当事業における売上高は11百万円、営業損失は36百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①当第3四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、新規出店及び事業譲受に伴い、建物300百万円、工具器具備品162百万円及び差入保証金61百万円が増加したこと、また店舗数の増加に伴い売掛金が76百万円増加したこと等の結果、前会計年度末に比べ708百万円増加の2,352百万円となりました。

負債につきましては、店舗数増加による仕入取引の拡大により買掛金124百万円、未払金122百万円等が増加いたしました。また、新規出店及び事業譲受のために借入をしたことにより借入金が増加したことの結果、前会計年度末に比べ631百万円増加の1,646百万円となりました。

純資産につきましては、第3四半期純利益69百万円を計上したこと等により、前会計年度末に比べ76百万円増加の706百万円、自己資本比率は30.0%となりました。

(注) 当社グループは、前事業年度に連結財務諸表を作成していないため、増減に関するコメントは、前事業年度の個別財務諸表との比較によっております。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、464百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は282百万円となりました。これは主に税金等調整前第3四半期純利益98百万円、減価償却費113百万円、仕入債務の増加123百万円、及び法人税等の支払額74百万円等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は524百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出276百万円、保証金の支払による支出73百万円及び事業譲受による支出166百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は305百万円となりました。これは長期借入による収入500百万円、長期借入金の返済194百万円によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間の業績は、新規出店店舗が期首想定以上に推移していること、既存店舗の業績が前期とほぼ同水準で推移していることなどから、売上高・営業利益・経常利益・第3四半期純利益は通期業績予想に対して計画を上回り推移しております。

しかしながら、第4四半期の当社グループを取り巻く状況は、内外の経済環境や市場における競争環境に不透明感があること、飲食業界にとり厳しい時期となる1月2月を迎えることなどから、決して予断を許さない状況と認識しております。このような情勢から、前回発表（平成19年10月15日）の通期業績予想については、現時点での変更はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

期中において、オーストラリアにZETTON OCEAN ROOM PTY. LTD. を設立し、事業譲受けによりシドニーのレストラン「OCEAN ROOM」を取得しております。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

区分	注記 番号	当第3四半期連結会計期間末 (平成19年11月30日)		構成比 (%)
		金額 (千円)		
(資産の部)				
I 流動資産				
1. 現金及び預金			464,367	
2. 売掛金			131,252	
3. 食品材料			35,846	
4. その他			78,359	
貸倒引当金			△977	
流動資産合計			708,849	30.1
II 固定資産				
1. 有形固定資産	※1			
(1) 建物		1,048,247		
(2) 器具備品		255,699		
(3) 建設仮勘定		25,286		
(4) その他		7,217	1,336,450	
2. 無形固定資産			20,302	
3. 投資その他の資産				
(1) 差入保証金		222,420		
(2) その他		64,236	286,657	
固定資産合計			1,643,410	69.9
資産合計			2,352,259	100.0

		当第3四半期連結会計期間末 (平成19年11月30日)	
区分	注記 番号	金額 (千円)	構成比 (%)
(負債の部)			
I 流動負債			
1. 買掛金		361,129	
2. 一年内返済予定長期借入金		293,528	
3. 未払金		197,552	
4. 未払費用		136,408	
5. その他	※2	160,248	
流動負債合計		1,148,865	48.8
II 固定負債			
1. 長期借入金		497,365	
固定負債合計		497,365	21.2
負債合計		1,646,230	70.0
(純資産の部)			
I 株主資本			
1. 資本金		330,540	14.1
2. 資本剰余金		252,743	10.7
3. 利益剰余金		115,221	4.9
株主資本合計		698,505	29.7
II 評価・換算差額等			
1. 為替換算調整勘定		7,523	0.3
評価・換算差額等合計		7,523	0.3
純資産合計		706,029	30.0
負債純資産合計		2,352,259	100.0

(2) 四半期連結損益計算書

		当第3四半期連結会計期間 (自 平成19年3月1日 至 平成19年11月30日)		
区分	注記 番号	金額 (千円)		百分比 (%)
I 売上高			3,740,369	100.0
II 売上原価			1,152,619	30.8
売上総利益			2,587,750	69.2
III 販売費及び一般管理費	※1		2,486,559	66.5
営業利益			101,190	2.7
IV 営業外収益				
1. 受取利息		1,852		
2. 為替差益		6,174		
3. 拡販協力金		21,241		
4. 雑収入		621	29,890	0.8
V 営業外費用				
1. 支払利息		9,127		
2. 雑損失		575	9,703	0.3
經常利益			121,377	3.2
VI 特別損失				
1. 本社移転統合費用	※2	18,538		
2. 投資有価証券評価損		4,095	22,633	0.6
税金等調整前第3四半期 純利益			98,743	2.6
法人税、住民税及び事業 税		56,451		
法人税等調整額		△27,092	29,359	0.8
第3四半期純利益			69,384	1.8

(3) 四半期連結株主資本等変動計算書

当第3四半期連結会計期間(自平成19年3月1日至平成19年11月30日)

	株主資本				評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計	
平成19年2月28日 残高(千円)	330,540	252,743	45,837	629,121	—	—	629,121
第3四半期連結会計期間中の変動額							
第3四半期純利益	—	—	69,384	69,384	—	—	69,384
株主資本以外の項目の第3四半期連結会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	7,523	7,523	7,523
第3四半期連結会計期間中の変動額合計(千円)	—	—	69,384	69,384	7,523	7,523	76,907
平成19年11月30日 残高(千円)	330,540	252,743	115,221	698,505	7,523	7,523	706,029

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

		当第3四半期連結会計期間 (自 平成19年3月1日 至 平成19年11月30日)
区分	注記 番号	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前第3四半期純利益		98,743
減価償却費		113,733
受取利息及び受取配当金		△1,852
支払利息		9,127
本社移転統合費用		10,443
為替差益		△6,040
投資有価証券評価損		4,095
貸倒引当金の増加額		366
売上債権の増減額 (△増加額)		△76,454
未収入金の増減額 (△増加額)		△7,601
たな卸資産の増減額 (△増加額)		△17,653
前払費用の増減額 (△増加額)		△14,536
預け金の増減額		9,695
その他流動資産の増減額		265
仕入債務の増減額		123,682
未払費用の増減額		34,612
未払金の増減額		22,238
前受金の増減額		33,164
その他流動負債の増減額		30,141
小計		366,171
利息及び配当金の受取額		1,852
利息の支払額		△10,844
法人税等の支払額		△74,991
営業活動によるキャッシュ・フロー		282,187

		当第3四半期連結会計期間 (自 平成19年3月1日 至 平成19年11月30日)
区分	注記 番号	金額 (千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出		△276,397
無形固定資産の取得による支出		△6,221
貸付けによる支出		△2,150
貸付金の回収による収入		1,277
保険積立金の支出		△816
保証金の支払による支出		△73,956
保証金の解約による収入		931
長期前払費用の取得による支出		△1,353
事業譲受による支出	※2	△166,208
投資活動によるキャッシュ・フロー		△524,894
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入		500,000
長期借入金の返済による支出		△194,615
財務活動によるキャッシュ・フロー		305,385
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		9,259
V 現金及び現金同等物の増減額		71,938
VI 現金及び現金同等物の期首残高		392,429
VII 現金及び現金同等物の第3四半期末残高	※1	464,367

四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

項目	当第3四半期連結会計期間 (自 平成19年3月1日 至 平成19年11月30日)
1. 連結の範囲に関する事項	連結子会社の数 1社 連結子会社の名称 ZETTON OCEAN ROOM PTY. LTD.
2. 持分法の適用に関する事項	非連結子会社及び関連会社に該当する会社はありません。
3. 連結子会社の四半期決算日等に関する事項	ZETTON OCEAN ROOM PTY. LTD. の第3四半期決算日は10月31日であります。第3四半期連結財務諸表の作成にあたっては、第3四半期決算日現在の財務諸表を使用しております。ただし、第3四半期連結決算日までの期間に発生した重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。
4. 会計処理基準に関する事項	<p>(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法</p> <p>① 有価証券 その他有価証券 時価のないもの…移動平均法による原価法を採用しております。</p> <p>② たな卸資産 食品材料 最終仕入原価法による原価法を採用しております。 貯蔵品 最終仕入原価法による原価法を採用しております。</p> <p>(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法</p> <p>① 有形固定資産 建物（附属設備を除く） イ 平成10年3月31日以前に取得したもの 旧定率法 ロ 平成10年4月1日から平成19年3月31日までに取得したもの 旧定額法 ハ 平成19年4月1日以降に取得したもの 定額法 建物（附属設備を除く）以外 イ 平成19年3月31日以前に取得したもの 旧定率法 ロ 平成19年4月1日以降に取得したもの 定率法 主な耐用年数は以下のとおりであります。 建物・・・・・・・・・・8年～20年 構築物・・・・・・・・・・10年～20年 器具備品・・・・・・・・2年～15年</p> <p>② 無形固定資産 定額法を採用しております。なお、ソフトウェア（自社利用分）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。 また、のれんについては、合理的な見積もりに基づく20年以内の定額法によっております。</p>

項目	当第3四半期連結会計期間 (自 平成19年3月1日 至 平成19年11月30日)
	<p>③ 長期前払費用 均等償却によっております。 なお、償却期間については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。</p> <p>(3) 重要な引当金の計上基準 貸倒引当金 債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収不能見込額を計上しております。</p> <p>(4) 重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算の基準 外貨建金銭債権債務は、第3四半期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。</p> <p>(5) 重要なリース取引の処理方法 リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。</p> <p>(6) その他第3四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項 消費税等の処理方法 税抜方式によっております。</p>
5. 第3四半期連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲	手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。

(5) 注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成19年11月30日)	
※1. 有形固定資産の減価償却累計額	407,118千円
※2. 消費税等の取扱い	
仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ、流動負債のその他に含めて表示しております。	

(四半期連結損益計算書関係)

当第3四半期連結会計期間 (自 平成19年3月1日 至 平成19年11月30日)	
※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
給与手当	549,142千円
雑給	503,675千円
消耗品費	110,577千円
地代家賃	352,482千円
水道光熱費	124,178千円
貸倒引当金繰入額	510千円
減価償却費	113,733千円
のれん償却	196千円
※2. 本社移転統合費用の内訳は次のとおりであります。	
保証金非返還分	4,972千円
建物除却費用	4,000千円
移転後旧本社家賃	5,594千円
新本社移転前家賃	2,570千円
設備撤去費用	1,400千円

(四半期連結株主資本等変動計算書関係)

当第3四半期連結会計期間 (自 平成19年3月1日 至 平成19年11月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

	前連結会計年度末 株式数 (株)	当第3四半期連結 会計期間増加株式 数 (株)	当第3四半期連結 会計期間減少株式 数 (株)	当第3四半期連結 会計期間末株式数 (株)
発行済株式				
普通株式	38,475	—	—	38,475
合計	38,475	—	—	38,475

2. 自己株式に関する事項

該当事項はありません。

3. 新株予約権及び自己新株予約権に関する事項

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結会計期間 (自 平成19年3月1日 至 平成19年11月30日)	
※1	現金及び現金同等物の第3四半期末残高と第3四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成19年11月30日現在) 現金及び預金勘定 464,367 千円 現金及び現金同等物 464,367 千円
※2	事業譲受により引き継いだ資産の主な内訳 当連結会計年度において、OCEAN ROOM PTY. LTD. からの事業譲受により増加した資産の主な内訳、ならびに事業譲受による支出の関係は次のとおりであります。 固定資産 164,417 千円 のれん 1,790 千円 事業譲受価額 166,208 千円 現金及び現金同等物 — 千円 差引：事業譲受による支出 166,208 千円

(リース取引関係)

当第3四半期連結会計期間 (自 平成19年3月1日 至 平成19年11月30日)			
1. リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引			
(1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び第3四半期末残高相当額			
	取得価額相当額 (千円)	減価償却累計額相当額 (千円)	四半期末残高相当額 (千円)
器具備品	275,558	128,351	147,207
合計	275,558	128,351	147,207
(2) 未経過リース料第3四半期末残高相当額			
1年内			49,124千円
1年超			108,277千円
合計			157,401千円
(3) 支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額			
支払リース料			36,797千円
減価償却費相当額			34,463千円
支払利息相当額			3,103千円
(4) 減価償却費相当額の算定方法			
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。			
(5) 利息相当額の算定方法			
リース料総額とリース物件の取得価額相当額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっております。			
2. オペレーティング・リース取引			
該当事項はありません。			
(減損損失について)			
リース資産に配分された減損損失はありません。			

(有価証券関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成19年11月30日現在)

時価評価されていない主な有価証券の内容

	四半期連結貸借対照表計上額 (千円)
その他有価証券	
非上場株式	5,428

(注) 減損処理にあたっては、期末における時価が取得原価に比べ50%を超えて下落した場合には全て減損処理を行い、30%~50%程度下落した場合には、回復可能性があると思われる場合を除き減損処理を行うこととしております。

表中の「取得原価」は減損処理後の帳簿価額であり、当第3四半期連結会計期間において、その他有価証券の非上場株式について4,095千円の投資有価証券評価損を計上しております。

(デリバティブ取引関係)

当第3四半期連結会計期間(自平成19年3月1日至平成19年11月30日)

当社グループは、デリバティブ取引を全く行っておりませんので、該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

当第3四半期連結会計期間(自平成19年3月1日至平成19年11月30日)

該当事項はありません。

(6) (セグメント情報)

a. 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期連結会計期間(自平成19年3月1日至平成19年11月30日)

	パブリック 事業 (千円)	コマーシャ ル事業 (千円)	プランニン グ&コンサ ルティン グ事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社(千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,955,390	1,773,729	11,250	3,740,369	—	3,740,369
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,955,390	1,773,729	11,250	3,740,369	—	3,740,369
営業費用	1,653,619	1,604,011	47,626	3,305,257	333,921	3,639,178
営業利益(又は営業損失)	301,770	169,717	△36,376	435,111	△333,921	101,190

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、戦略事業別の区分によっております。

2. 各事業区分の主な内容

事業区分	事業内容
パブリック事業	公共施設における店舗開発・再開発
コマーシャル事業	商業店舗における店舗開発・再開発
プランニング&コンサルティ ング事業	グラフィックデザインの製作や他の飲食施設へのコンサルティング

3. 営業費用のうち消去又は全社の区分に含めた配賦不能営業費用の金額は333,921千円であり、当社の管理本部等における販売費及び一般管理費であります。

b. 所在地別セグメント情報

当第3四半期連結会計期間(自平成19年3月1日至平成19年11月30日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合がいずれも90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

当第3四半期連結会計期間(自平成19年3月1日至平成19年11月30日)

海外売上高は、いずれも連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

当第3四半期連結会計期間 (自 平成19年3月1日 至 平成19年11月30日)	
1株当たり純資産額	18,350.34円
1株当たり四半期純利益金額	1,803.36円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	1,731.26円

(注) 1株当たり第3四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり第3四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第3四半期連結会計期間 (自 平成19年3月1日 至 平成19年11月30日)
1株当たり第3四半期純利益金額	
第3四半期純利益(千円)	69,384
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る第3四半期純利益(千円)	69,384
期中平均株式数(株)	38,475
潜在株式調整後1株当たり第3四半期純利益金額	
第3四半期純利益調整額(千円)	—
普通株式増加数(株)	1,602
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり第3四半期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—

(企業結合等関係)

当第3四半期連結会計期間(自平成19年3月1日至平成19年11月30日)

当社子会社であるZETTON OCEAN ROOM PTY. LTD.による事業の譲受

(1) 企業結合を行った主な理由

当社は、海外における事業展開の足がかりとして、平成19年3月30日にオーストラリアに子会社を設立し、既存の店舗を譲り受ける検討をしておりました。

この度、当社子会社が譲り受けるシドニーのレストラン「OCEAN ROOM」は、シドニーオペラハウスを正面に臨み、非常にロケーションの価値が高く、事業性の面においても、当社の強みであるクリエイティブ力やオペレーションノウハウを導入することによって、さらに収益性を高める余地があると判断いたしました。

(2) 事業を取得した相手企業の名称及び取得した事業の内容

OCEAN ROOM PTY. LTD.におけるレストラン「OCEAN ROOM」

(3) 企業結合日

平成19年6月1日

(4) 企業結合の法的形式

事業譲受け

(5) 連結財務諸表に含まれている取得した事業の業績の期間

平成19年6月1日から平成19年10月31日まで

(6) 企業結合日に受け入れた資産の額並びにその主な内訳、取得した事業の取得原価及びその内訳、発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

区分	金額(千円)
固定資産	164,417
のれん	1,790
取得原価	166,208

(注) 1. 取得した事業の取得原価の対価は、全て現金にて支払いを行っております。

2. 企業結合時の時価純資産が取得原価を下回ったため、その差額をのれんとして認識しております。

3. のれんの償却については、46ヶ月の均等償却を実施しています。

(7) 企業結合が第3四半期連結会計期間の開始の日に完了したと仮定した場合の当第3四半期連結会計期間の第3四半期連結損益計算書に及ぼす影響の概算額

売上高及び損益情報

売上高 164,864千円

営業損失 △5,960千円

(概算額の算定方法及び重要な前提条件)

上記の概算額は、企業結合が第3四半期連結会計期間開始の日に完了したと仮定して算定された売上高及び損益情報と取得事業の第3四半期連結損益計算書における売上高及び損益情報との差額について記載しております。

なお、当該注記は、監査証明を受けておりません。

6. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

区分	注記 番号	前第3四半期会計期間末 (平成18年11月30日)		当第3四半期会計期間末 (平成19年11月30日)		前事業年度の要約貸借対照表 (平成19年2月28日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
(資産の部)							
I 流動資産							
1 現金及び預金		480,995		412,822		392,429	
2 売掛金		61,300		123,442		54,586	
3 食品材料		21,728		30,037		22,106	
4 未収入金		17,471		16,344		2,623	
5 その他		50,531		56,892		49,444	
貸倒引当金		△644		△977		△611	
流動資産合計			631,381 36.4		638,562 27.7		520,579 31.7
II 固定資産							
1 有形固定資産							
(1) 建物		780,444		991,403		747,562	
(2) 器具備品		100,517		143,448		93,394	
(3) 建設仮勘定		6,429		25,286		53,776	
(4) その他		11,414		7,217		8,701	
有形固定資産合計		898,804	51.9	1,167,356	50.7	903,435	55.0
2 無形固定資産		16,512	1.0	18,294	0.8	15,746	1.0
3 投資その他の資産							
(1) 差入保証金		137,219		211,303		160,838	
(2) 関係会社株式		—		203,069		—	
(3) その他		48,877		64,236		43,337	
投資その他の資産合計		186,096	10.7	478,610	20.8	204,176	12.4
固定資産合計			1,101,413 63.6		1,664,260 72.3		1,123,357 68.3
資産合計			1,732,795 100.0		2,302,823 100.0		1,643,937 100.0

区分	注記 番号	前第3四半期会計期間末 (平成18年11月30日)		当第3四半期会計期間末 (平成19年11月30日)		前事業年度の要約貸借対照表 (平成19年2月28日)		
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	
(負債の部)								
I 流動負債								
1 買掛金		270,872		347,978		237,089		
2 一年内返済予定長期 借入金		114,086		293,528		210,292		
3 未払金		93,826		196,063		75,441		
4 未払費用		108,650		133,543		100,123		
5 その他		89,437		135,534		116,652		
流動負債合計		676,871	39.1	1,106,648	48.1	739,599	45.0	
II 固定負債								
1 長期借入金		424,925		497,365		275,216		
固定負債合計		424,925	24.5	497,365	21.6	275,216	16.7	
負債合計		1,101,796	63.6	1,604,013	69.7	1,014,815	61.7	
(純資産の部)								
I 株主資本								
1 資本金		330,540	19.1	330,540	14.3	330,540	20.1	
2 資本剰余金								
(1) 資本準備金		252,743		252,743		252,743		
資本剰余金合計		252,743	14.6	252,743	11.0	252,743	15.4	
3 利益剰余金								
(1) その他利益剰余金								
繰越利益剰余金		47,336		115,526		45,837		
利益剰余金合計		47,336	2.7	115,526	5.0	45,837	2.8	
株主資本合計		630,620	36.4	698,810	30.3	629,121	38.3	
II 評価・換算差額等								
1 その他有価証券評価 差額金		378		—		—		
評価・換算差額等合計		378	0.0	—	—	—	—	
純資産合計		630,998	36.4	698,810	30.3	629,121	38.3	
負債及び純資産合計		1,732,795	100.0	2,302,823	100.0	1,643,937	100.0	

(2) 四半期損益計算書

区分	注記 番号	前第3四半期会計期間 (自 平成18年 3月1 日 至 平成18年11月30日)		当第3四半期会計期間 (自 平成19年 3月1 日 至 平成19年11月30日)		前事業年度の要約損益計算書 (自 平成18年3月1 日 至 平成19年2月28日)				
		金額 (千円)	百分比 (%)	金額 (千円)	百分比 (%)	金額 (千円)	百分比 (%)			
I 売上高		2,779,728	100.0	3,607,791	100.0	3,750,628	100.0			
II 売上原価		831,708	29.9	1,111,498	30.8	1,129,146	30.1			
売上総利益		1,948,019	70.1	2,496,292	69.2	2,621,481	69.9			
III 販売費及び一般管理費		1,850,413	66.6	2,393,290	66.3	2,516,349	67.1			
営業利益		97,606	3.5	103,001	2.9	105,131	2.8			
IV 営業外収益		20,422	0.7	28,384	0.8	22,763	0.6			
V 営業外費用		23,545	0.8	9,703	0.3	27,370	0.7			
経常利益		94,483	3.4	121,682	3.4	100,524	2.7			
VI 特別損失		1,355	0.0	22,633	0.7	3,284	0.1			
税引前第3四半期 (当期) 純利益		93,127	3.4	99,048	2.7	97,240	2.6			
法人税、住民税及び 事業税		37,810		56,451		43,400				
法人税等調整額		7,981	45,791	1.7	△27,092	29,359	0.8	8,001	51,402	1.4
第3四半期(当期) 純利益		47,336	1.7	69,688	1.9	45,837	1.2			

(3) 四半期株主資本等変動計算書

前第3四半期会計期間（自 平成18年3月1日 至 平成18年11月30日）

	株主資本				評価・換算差 額等合計	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	
		資本準備金	その他利益剰余 金 繰越利益剰余金			
平成18年2月28日 残高 (千円)	154,200	123,711	△47,308	230,604	468	231,072
第3四半期会計期間中の変動額						
新株の発行	176,340	176,340	—	352,680	—	352,680
資本準備金の取崩し	—	△47,308	47,308	—	—	—
第3四半期純利益	—	—	47,336	47,336	—	47,336
株主資本以外の項目の第3四 半期会計期間中の変動額（純 額）	—	—	—	—	△90	△90
第3四半期会計期間中の変動額 合計 (千円)	176,340	129,032	94,644	400,016	△90	399,926
平成18年11月30日 残高 (千円)	330,540	252,743	47,336	630,620	378	630,998

当第3四半期会計期間（自 平成19年3月1日 至 平成19年11月30日）

	株主資本				評価・換算差 額等合計	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	
		資本準備金	その他利益剰余 金 繰越利益剰余金			
平成19年2月28日 残高 (千円)	330,540	252,743	45,837	629,121	—	629,121
第3四半期会計期間中の変動額						
第3四半期純利益	—	—	69,688	69,688	—	69,688
第3四半期会計期間中の変動額 合計 (千円)	—	—	69,688	69,688	—	69,688
平成19年11月30日 残高 (千円)	330,540	252,743	115,526	698,810	—	698,810

前事業年度の株主資本等変動計算書 (自 平成18年3月1日 至 平成19年2月28日)

	株主資本				評価・換算差 額等合計	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	
		資本準備金	その他利益剰余 金			
			繰越利益剰余金			
平成18年2月28日 残高 (千円)	154,200	123,711	△47,308	230,603	468	231,072
事業年度中の変動額						
新株の発行	176,340	176,340	—	352,680	—	352,680
資本準備金の取崩し	—	△47,308	47,308	—	—	—
当期純利益	—	—	45,837	45,837	—	45,837
株主資本以外の項目の事業年 度中の変動額 (純額)	—	—	—	—	△468	△468
事業年度中の変動額合計 (千円)	176,340	129,032	93,145	398,517	△468	398,049
平成19年2月28日 残高 (千円)	330,540	252,743	45,837	629,121	—	629,121